



特定非営利活動法人

ライオンズの森プロジェクト活動報告書

2012年6月



Batamライオンズクラブメンバーと植林後記念撮影

NPO 法人ライオンズの森プロジェクトは、インドネシア共和国リアウ諸島州バタム市ガラン島ラメイ岬の干潟にマングローブ植林を2008年8月に開始して以来、丸4年になりました。

植林ツアーは毎年行っております。本年度は2011年10月27日～30日に植林ツアーを行い、植林地であるバタムのライオンズクラブのメンバーと交流を深めてきました。

バタムライオンズクラブの方々が、移動のための車の送迎までしてくださり、積極的に植林に参加してくださいました。バタムライオンズクラブのメンバーも入れて19名で1,000本植林をしました。



昨年、LCIFの援助金とライオンズの森会費分を合わせて20,000本を植林した区域のマングローブは、活着もよく葉も3～4枚茂り成長していました。時期により成長の違いがありますが順調な成長ぶりを観察することができました。



インドネシア国立シダルジョ海洋水産専門学校と協同事業

2009年8月より、インドネシア海洋水産省直轄のシダルジョ海洋水産専門学校と協同で、エビ養殖池の再生事業を行っています。

インドネシアを中心に東南アジアの国々では、エビ養殖池の開発のために広大なマングローブ林が伐採され、大量の飼料や薬剤が使用されて、土壌は汚染され、放置されるといった悪循環を繰り返しています。

私共の事業では、マングローブが持つ水質浄化の機能をうまく利用して、エビや魚の養殖池との共存を目指し、自然循環型の養殖スタイルを協同開発しています。この事業の成功は、同じような汚染された多くの土地や問題を抱えている政府関連、漁業関連、又他の国々を救う手立てとなりうるため、各界から多くの期待が寄せられています。

本年度は2011年9月に覚書を交わし、それに基づきマングローブ植林や植林後の管理を行っています。

緑の募金の交付金を受け、2010年9月から、4.8haの養殖池とその周辺に約29,000本の植林を行いました。

マングローブ立木群の健全な育成のために、場所によっては、ある程度の背丈となるまで下刈り作業を3ヶ月間隔で行わなければならない、また枯死個体の補植や下刈りといった継続的な個体管理が必要です。



植林をするためには、養殖池内の土を盛り上げたり、雑草を刈ったりする土地の整備に労力がかかります。



整備した土地に植林したマングローブは著しい成長を見せており、植林2年4ヶ月経過で支柱根が7~8本でており、背丈も順調にのびています。



2012年1月に植林したマングローブは、葉が茂り順調に成長していることが窺えました。

マングローブを植林した養殖池の1つで、試験的にエビ養殖を行った結果、1カ月半と短期間ではありましたがエビの養殖が可能でした。

植林以前は全くエビ養殖が出来なかったことから、植林による効果が現れだしたことが窺えます。しかしながら、エビ生育に十分な3ヶ月間という期間を保持するには、さらなる個体の継続的な育成管理が必要となります。

今後下草刈りや補植などの管理を行っていきます。

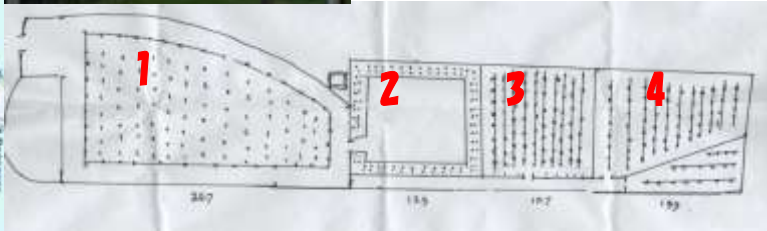
東ジャワ州海洋水産局との共同事業

本年度は、再び緑の募金の交付を得て、新たにシダルジョ海洋水産専門学校に近い地域にある東ジャワ州海洋水産局(Balai)が管理する水産試験場のエビ養殖跡地の3haに20,000本の植林を行いました。



←水産試験場 (Balai) の看板

↓植林する池の見取り図



シダルジョ海洋水産専門学校で行っている養殖池のマングローブ植林の成果が、その周辺地域にも伝わり、パスルアン県よりマングローブ植林における共同プロジェクト及び土地の提供について提案を受けました。

パスルアン県バンギル区カリアニヤール村には、東ジャワ州の海洋水産局が管轄する水産試験場があり、養殖に関する技術研究を行っています。ここでは2種類の試験が行われており、Unit I では最新の設備を整えた近代養殖池、Unit II ではマングローブ植林によるマングローブの水質浄化機能を活用した養殖池となっています。この Unit II の養殖池で、共同事業により植林を行うことになりました。



整備前の池①番



植林後の池①番の全景

地元行政および地域住民の協力のもと、養殖池の中央の土を盛り上げ整備し、その整備された部分に、マングローブの種を直植えしていきました。



植林後の池①番の別の角度から撮影



H24年2月撮影

植林本数が20,000本と本数が多いので3回に分けて植林したため、成長に違いがありますが、H23年12月に植林したものには、葉が3~4枚茂り、活着も80%以上あり、順調に成長しています。2月に植林したものには、葉がでてきているようです。

シダルジョ海洋水産学校での共同事業の成果が、新しい地域への植林へとつながりました。マングローブの浄化機能を活用する養殖池のマングローブ植林の成果があがっていけば、沿岸地域の養殖業に携わる多くの住民に貢献できる可能性があり、また、植林面積の拡大は地球温暖化対策への貢献にもなります。

これらの活動の促進については、活動を支えてくださる会員やライオンズクラブの支援の賜物です。

これからもマングローブ植林を続けてまいりますので、応援をよろしくお願いいたします！



特定非営利活動法人ライオンズの森プロジェクト

〒810-0001 福岡市中央区天神 4-1-11 天神 YLビル9階

TEL : 092-734-7751 FAX : 092-734-7720

E-Mail: info@lions-mori.net HP : <http://www.lions-mori.net>

担当：大塚 晃世

※福岡県のHPの中の福岡県NPOのかんたん団体検索で事業報告をご確認いただけます。

団体名のところに「ライオンズの森プロジェクト」と入力しクリックしてください。

<http://www.nvc.pref.fukuoka.lg.jp/>